

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おりーぶおりーぶ厚生病院前		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内に運動スペースがあるため、協調性運動や体幹機能訓練等を実施できる。	ドッチビー等集団で行う際にルールがある遊びを通じて、待つことやルールを守る等の支援を職員と一緒に体感を通じてチャレンジできる。	現在はトラブルがあると職員が仲介しているが、自分で自分の感情を取めたり、自分でどうしたらいいのか考える力等を高められるような遊びを取り入れていく。
2	長期休みに外出支援を実施し、社会性を育むことができる。	社会性を育むために今後必要となるスキルを向上できる企画をしている。例えば買い物支援や震災を体験するような施設に行き身を守る方法を学ぶ等がある。	公共交通機関を使い外出を試みることや、その行動の振り返りをすることで、必要なスキルを定着する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やきょうだい児支援が少ない。	保護者会をどのようなタイミングで実施するのか、参観日は実施しているが横のつながりの強化やきょうだい児支援を行うおうとすると職員数が足りない。	本来の職員数は通所するお子さんのための職員なので、きょうだい児や保護者が多く参加するような取り組みをすると1人あたりの療育の時間が少なくなってしまう。療育の質の担保を実施するにあたり、このようなイベントを多く実施するにはそもそも無理があると感じる。
2			
3			